

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成24年7月九州北部豪雨等における消防団の災害出動)

名 称	八女市消防団
所 在 地	福岡県八女市
代 表 者	まつのぶ ひでひろ 団 長 松 延 英 博
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月13日から14日九州北部を襲った梅雨前線の影響による集中豪雨に際し、3日間延べ784名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動を行った。管内では、人的被害については、負傷者を出したものの、死者を出すことはなかった。このことは、平素の水防意識の高揚とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	みやま市消防団
所 在 地	福岡県みやま市
代 表 者	かじやま としゆき 団 長 梶 山 敏 幸
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨による町各地において発生した災害に対し、3日間延べ625名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、孤立住民の救助活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚とあいまって、被害の軽減に多大に貢献した。

名 称	朝倉市消防団
所 在 地	福岡県朝倉市
代 表 者	やまうち あきら 団 長 山 内 明
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨等に際し、4日間延べ2,178名が出動し、朝倉市杷木地域を中心に浸水被害等が多発する中、昼夜にわたり水防活動や住民の避難誘導、行方不明者の捜索、被災者の救助活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	うきは市消防団
所 在 地	福岡県うきは市
代 表 者	しげとみ たつひこ 団 長 重 富 辰 彦
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、3日間延べ576名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、昼夜にわたり水防活動や住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

名 称	柳川市消防団
所 在 地	福岡県柳川市
代 表 者	なかむら あきひこ 団 長 中 村 明 彦
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、4日間延べ1,750名の団員が出動した。柳川市全域で河川の増水氾濫が発生する中、昼夜にわたり水防活動や住民の避難誘導、被災者の救助活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	久留米市消防団
所 在 地	福岡県久留米市
代 表 者	みずた のぶゆき 団 長 水 田 信 行
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、2日間延べ1,542名が出動し、市内全域において床上浸水や道路損壊、河川溢水等多大の被害を受ける中、監視・警戒活動に続き、河川における溢水や洗掘の被害に対する迅速かつ的確な対応、河川の水位等警戒監視活動及び避難勧告に伴う広報活動を行うなど、水防活動や住民の避難誘導、被災者の救助活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	筑後市消防団
所 在 地	福岡県筑後市
代 表 者	すみ かず の り 団 長 角 一 徳
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、2日間延べ364名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、昼夜にわたり水防活動や住民の避難誘導を行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	多久市消防団
所 在 地	佐賀県多久市
代 表 者	じんのうち しげかず 団 長 陣 内 成 和
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、4日間延べ318名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、水防活動や住民の避難誘導、土砂崩れ箇所被害拡大防止活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

名 称	中津市消防団
所 在 地	大分県中津市
代 表 者	しまだ よしあき 団 長 陽 田 義 明
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨等に際し、3日間延べ1,041名が出動し、降り続く豪雨の中、水防活動や住民の避難誘導、被災者の救助活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	竹田市消防団
所 在 地	大分県竹田市
代 表 者	つづき かずもり 団 長 都 築 員 守
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、3日間延べ1,242名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、水防活動や住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	日田市消防団
所 在 地	大分県日田市
代 表 者	さとう ちかよし 団 長 佐 藤 親 吉
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨等に際し、3日間延べ1,295名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、水防活動や住民の避難誘導などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	阿蘇市消防団
所 在 地	熊本県阿蘇市
代 表 者	たかみや たかひろ 団 長 高 宮 隆 博
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、19日間延べ3,484人が出動した。災害当初は激しい雷を伴った時間雨量100mm以上の豪雨が4時間程度続き、しかも深夜という極めて危険な状況の中、早期から警戒活動や住民への避難呼び掛け・避難誘導、また被災者の救助活動、行方不明者の捜索活動、避難指示区域の巡回警戒活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

名 称	熊本市消防団
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	よねむら まさあき 団 長 米 村 昌 昭
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年7月九州北部豪雨に際し、3日間延べ958名が出動した。降り続く豪雨の中、水防活動や住民の避難誘導、被災者の救助活動などを行い、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

(平成24年8月京都府南部地域豪雨災害における消防団の災害出動)

名 称	宇治市消防団
所 在 地	京都府宇治市
代 表 者	ふたみ かずひこ 団 長 二 見 和 彦
功 績 の 概 要	同消防団は、平成24年8月14日未明からの集中豪雨に際し、10日間延べ420名が出動し、降り続く豪雨のなか極めて危険な状況の下、水防活動や住民の避難誘導、被災者の救助活動、行方不明者の捜索活動を行うなど、人的・物的被害の軽減に多大な貢献をした。

(平成23年7月新潟・福島豪雨における人命の安全確保等)

名 称	五ヶ会
所 在 地	新潟県三条市
代 表 者	さかい としひこ 会 長 坂 井 利 彦
功 績 の 概 要	同会は、平成23年7月の新潟・福島豪雨に際し、13日間延べ400名が活動し、土石流発生の危険性が顕在化するという極めて困難な状況の中、危険を顧みず住民の避難誘導を行うとともに、土砂崩れにより指定避難所への経路が不通となったことから、集落集会所等を避難所として開設し自主運営するなど、全120世帯388名全員が避難し、1人として人的被害を出さず、人命の安全確保に多大な貢献をした。 また、応急復旧についても道路の通行確保、水路の通水確保や建物等への土砂流入撤去並びに二次災害防止作業などを行い、地域住民の生活の安定に貢献した。

(平成24年4月肘折地区地すべり災害における人命の安全確保等)

名 称	肘折地区自治会
所 在 地	山形県最上郡大蔵村
代 表 者	すとう しゅういち 代 表 須 藤 修 一
功 績 の 概 要	同自治会は、平成24年4月から5月にかけての地すべり災害に際し、32日間延べ176名が活動し、昼夜にわたり地すべり活動を監視するとともにミニFM局を運営し地域住民に対し情報提供を行うなど地域住民の不安解消に努めるとともに、5月13日に再発生した大規模な地すべりに際しては、事前に策定した避難体制に基づき観光客及び地域住民を避難誘導し、人命の安全確保に多大な貢献をした。